

教科名	国語	週時数	4 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書：国語 2（光村図書） ・学習漢字ノート（浜島書店）</li> <li>・新・基礎の学習(新学社) ・すらすら基本文法(浜島書店) ・読み方レスキュー(正進社)</li> </ul>				

★★で大切な見方・考え方	<p>&lt;見方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象と言葉、あるいは言葉同士の関係性を、その意味・働き・使い方に着目して捉える。</li> <li>・言葉の意味、働き、使い方に着目して、世界や事象を捉える見方を身につける。</li> </ul>	
	<p>&lt;考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が持つ関係性を問い直して意味付けることで、自分の思いや考えを形成し深める。</li> <li>・他者とのコミュニケーションの中で言葉を適切に運用し、自身の認識や表現を再構築していく思考の過程を大切にす。</li> </ul>	
国語の学習で目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習漢字に加えて、新出漢字を正しく読んだり書いたりして、意味を理解することができる。</li> <li>・言葉遣いや語句、文法などの表現を理解し、語彙を豊かにすることができる。</li> <li>・目的に応じて楷書や行書を書いたり、それに調和した仮名を書いたりすることができる。</li> <li>・古典の仮名遣いや漢文の読み方を理解することができる。</li> </ul>
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習漢字に加えて、新出漢字を読んだり書いたりして、文章の中で適切に使うことができる。</li> <li>・文学的な文章や古典を朗読し、登場人物や作者の思いを想像することができる。</li> <li>・説明的文章の構成を理解し、筆者の主張を捉えることができる。</li> <li>・立場や考えの違いをふまえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手を尊重して話し合ったりすることができる。</li> <li>・構成を工夫して、分かりやすく表現することができる。</li> <li>・文章の内容や表現に注意して、読むことができる。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面、意図に応じて積極的に話す、聞く、書く、読む活動に取り組み、考えをまとめたり広げようとするすることができる。</li> <li>・読書を生活に役立てようとするすることができる。</li> <li>・広い範囲から情報を集め、効果的に活用することができる。</li> </ul>
学習の進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名されていなくても自分から考えようと心がけ、話す・聞く・書く・読む活動に積極的に取り組もう。</li> <li>・授業中の発表では、伝え合うことを意識して、工夫して話し合おう。</li> <li>・単元ごとに国語の学習に取り組み、理解を深めよう。</li> <li>・授業の初めに読み方レスキューに取り組み、読解力を身に付けよう。</li> <li>・文法の学習内容はワークやプリントを活用し、書き込みをしたり、繰り返し復習をしたりしよう。</li> <li>・授業中は考えながらノートを取り、必要に応じて自発的に書き込んだり、色ペンを使ったりするなどの工夫をして、復習に活用できるようにしよう。</li> <li>・漢字テストや小テストなど、授業での重要なポイントの復習を中心に、基礎学力を定着させよう。</li> </ul>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題（漢字ノート・国語の学習・授業で出された課題など）は必ずしよう。</li> <li>・小テストの前には、自分でテストをするなど、工夫して復習しよう。</li> <li>・新聞や本などを読んで、読書に親しみ、生活に役立てよう。</li> </ul>
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きや語句の意味、さらに文法や表現、文学史の知識など、覚えたことを確認しよう。</li> <li>・ワーク（漢字、文法など）やプリントを繰り返し解こう。</li> <li>・ノートやプリントで、授業の重要なポイントを確認して覚えよう。</li> <li>・プリントやワークでの記述（書く）問題は、もう一度自分でやってみて、すらすら書けるようにしておこう。</li> </ul>
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークは自分の力で取り組み、きちんと答え合わせをしよう。</li> <li>・漢字プリントなどを活用して、漢字は反復練習を心がけよう。</li> <li>・文法は積み重ねの学習なので、苦手なところはもう一度ふり返って復習しよう。</li> </ul>	

国語科 2年生 年間学習計画

教材	学習内容	月	評価					
			評価の観点	評価の場面・方法				
見えないだけ	詩歌	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を区別して、話すことや聞くこと、書くことができる。</li> <li>・さまざまな文章に応じた読み取りができる。</li> <li>・言葉の特徴やきまりを理解することができる。</li> <li>・さまざまな古典について知る。</li> <li>・さまざまな表現技法を理解し、使うことができる。</li> <li>・整った楷書を書くことと、行書の基礎を理解して、書くことができる。</li> <li>・漢字の読み書きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ノート</li> <li>・漢字プリント</li> </ul>			
アイスプラネット	文学的文章							
魅力的な提案をしよう	話す・聞く							
枕草子	古典							
クマゼミ増加の原因を探る	説明的文章	5						
情報を整理して伝えよう	書く							
熟語の構成	言語							
用言の活用	文法	6						
類義語・対義語・多義語	言語							
硬筆書写	書写							
ヒューマノイド	文学的文章	9				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて話し合いをすることができる。</li> <li>・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。</li> <li>・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。</li> <li>・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝わるように話したり、考えながら聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・プリント</li> </ul>
字のない葉書	文学的文章							
敬語	言語							
モアイは語る	説明的文章	10						
表現を工夫して書こう	書く							
平家物語	古典	11						
徒然草	古典							
漢詩の風景	古典							
君は「最後の晚餐」を知っているか	説明的文章	12						
毛筆書写	書写							
立場を尊重して話し合おう	話す・聞く	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもって学習に取り組む。</li> <li>・積極的に授業に取組、授業での学びを自己の生活の中に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・宿題などの提出物</li> <li>・漢字小テストに対する取組</li> </ul>			
走れメロス	文学的文章							
付属語のはたらき	文法							
適切な根拠を選んで書こう	書く							
メディアの特徴を生かして情報を集めよう	情報							
鍵	説明的文章							

教科名	社会	週時数	3 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	社会科中学生の地理(帝国書院) 新しい社会 歴史(東京書籍) 地理の学習 2 (地理) 歴史の学習2・3 (歴史) 地理の資料 (地理) 未来へつなぐ歴史資料集 (歴史)				

社会で大切な見方・考え方	<p>&lt;見方&gt;</p> <p>・社会の出来事を、「場所や環境(地理)」「時代の流れ(歴史)」「社会の仕組み(公民)」という3つの要素を通して多面的・多角的に捉えます。さらに、それらが自分たちの生活や地域の課題とどのように関連しているのか、自分事として広い視野で見つめ、課題を解決することを大切にします。身近な疑問から世界規模の事象まで、社会の成り立ちを自分との関わりで捉えることから始めていきましょう。</p> <p>&lt;考え方&gt;</p> <p>・集めた情報を比較・検討し、共通点を見つけたり原因を探ったりして、「なぜそうなったのか」を論理的に整理・分析します。様々な立場や多様な価値観に触れ、課題を見出し、協働的な学習を通じて「よりよい解決策」を粘り強く考え抜きます。授業や探究活動で学んだことを土台にして、これからの社会をどう作っていくかという自分なりの答えを導き出しましょう。</p>	
	社会の学習で目指すこと	<p>知識・技能</p> <p>社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につける。獲得した知識を使ってレポートなどを作成する。</p> <p>思考力 判断力 表現力</p> <p>社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>自らの学習状況を把握し、知識の取得や思考を深めるにはどうすればよいかについて主体的に取り組む。定期テスト等では結果に一喜一憂するのではなく、自分の得意不得意を冷静に見極めて自分自身で調整しながら学習を進めていく。</p>
学習の進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書・ワーク・プリントを中心に学習を進めます。</li> <li>視聴覚教材として、写真や動画を活用していきます。</li> <li>知識が定着するように、小テスト、単元テストを行うこともあります。</li> <li>授業では、板書を写すだけでなく図やメモなどを書き込み、わかりやすいノートまとめをしましょう。</li> <li>提出物は締切を守りましょう。また、きちんとできているか確認して提出しましょう。締め切り後の提出・再提出は受けつけません。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台端末を活用しながら、授業を行います。</li> <li>小テストや授業に関するアンケートなどでPCを使用することがあります。</li> <li>ICT機器やグループでの話し合いなどを通して知識理解を深めたり、表現力を高めていきます。</li> <li>調べ学習やレポート、スライド作成に取り組みます。</li> </ul>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題が出されたら家でしっかり取り組みましょう。</li> <li>端末を持ち帰り、Googleクラスルームを活用して課題を出すこともあります。</li> <li>テレビや新聞などで学習内容に関連する情報をつかんでおくことも大切です。</li> <li>社会の動きに関心を持つと理解が深まります。</li> <li>自主学習ノートを活用した学習を行いましょう。</li> <li>授業で疑問に思ったことや興味を惹かれたものについて自主的に調べてみましょう。</li> </ul>
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学習したことを中心に、教科書や地図帳、ワーク、資料集などから出題します。</li> <li>単に暗記するだけでなく、知識の活用ができるように問題集などに取り組みましょう。</li> <li>テストの点数だけにとらわれず、間違えたり迷ったりした問題をよく確認し、テストを自分の苦手や得意を知る材料にしましょう。</li> <li>テスト直しの課題を出します。同じ間違いを繰り返さないように丁寧に見直しましょう。</li> </ul>
学習上の注意	<p>社会は暗記科目ととらえられがちですが、知識量だけでなく提示された資料を活用したり、データを読み取ったり歴史的資料からわかることを記述したりするなど総合的に問われる問題が高校入試等でも多く出題されます。ふだんから『この資料から何がわかるのだろうか』『どうしてこのような結論になるのか』など知識の活用を意識して生活を送ることも大切です。また、自宅でも時事問題について話し合ったりして、内容を深めておくことも大切です。</p>	

社会科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
第3章 中世の日本	第2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野（地理・歴史）の諸事象を、用語だけでなく内容や背景を含めて正しく理解しているか。</li> <li>・地図、統計、年表、史料などの諸資料から必要な情報を収集・整理し、読み取る力が身についているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業、テストの課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>
第2章 日本の地域的特色		5			
第3章 日本の諸地域	第1節 九州地方	6			
	第2節 中国・四国地方				
	第3節 近畿地方	7			
第3章 日本の諸地域	第4節 中部地方	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、資料を比較したり、共通点や差異を見つけたりして考えること。</li> <li>・根拠（エビデンス）に基づいて、自分なりの結論や妥当な考えを導き出すこと。</li> <li>・自分の考えを、論理的な文章や図表、プレゼンテーションなどで適切にアウトプットすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業、テストの課題</li> <li>・グループ学習</li> </ul>
	第5節 関東地方				
	第6節 東北地方	10			
	第6節 北海道地方				
第4章 近世の日本	第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	11			
	第2節 江戸幕府の成立と対外政策の変化	12			
	第3節 産業の発達と幕府政治の推移				
第5章 近世の日本	第1節 欧米における近代化の進展	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能を習得しようとしていたり、思考・判断・表現しようとしていたりする中で、困難があってもあきらめずに試行錯誤しているか。</li> <li>・自分の理解度を把握し、学習の仕方を振り返って、必要に応じて修正したり、より深い問いを見つけたりしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート・ファイル</li> <li>・授業、テストの課題</li> <li>・自己評価や振り返り</li> <li>・授業態度</li> </ul>
	第2節 欧米の進出と日本の開国	2			
	第3節 明治維新	3			

教科名	数学	週時数	3 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	「未来へひろがる 数学2」(啓林館) 「数学の学習ノート」(正進社) 「Wプリント」(新学社)				

数学で大切な見方・考え方	<見方> ・事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して、自分なりに理解すること		
	<考え方> ・理由をはっきりさせて整理し、色々な知識を一つにまとめ、そこからさらに新しいアイデアを広げていく		
数学の学習で目指すこと	知識・技能	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	
	思考力 判断力 表現力	事象を数理的に考察する力や図形において論理的に考察し、表現する力、データを読み取り、考察し、判断する力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	
学習の進め方	授業について	$\begin{matrix} \text{大} \\ \text{切} \\ \text{な} \\ \text{こ} \\ \text{と} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \text{数} \\ \text{学} \\ \text{で} \\ \text{の} \\ \text{こ} \\ \text{と} \end{matrix}$	1 意欲的に授業に参加する姿勢をもつこと 2 基本的な知識を習得すること 3 正確に計算できる力をつけること 4 考え工夫してみようとする姿勢をもつこと
		$\begin{matrix} \text{授} \\ \text{業} \\ \text{の} \\ \text{受} \\ \text{け} \\ \text{方} \end{matrix}$	1 先生や仲間を話をしっかり聞こう。 2 ノートをしっかり書こう。 3 とにかくやってみよう。 4 間違えたところは、なぜ間違えたかを考えよう。 5 積極的に発表しよう。 6 グループ活動で課題を解決しよう。
	家庭学習	1 その日のうちにノートを見直そう。 ・授業でやった問題をもう一度やってみよう。 2 宿題とワークをやろう。 ・宿題は、必ずその日のうちにやろう。 ・習ったところのワークを少しずつ進めておこう。	
	定期テスト	1 教科書やワークの問題を何度も繰り返してやろう。 ・教科書の例題をやり直そう。 ・ワークは日頃から進めておき、わからなかった部分や間違えた問題を、もう一度確認しよう。 ・ノートに書かれたポイントを確認し直そう。 2 わからないところは、先生や友達に聞いてわかるようにしよう。 3 テストでは見直しをしっかりしよう。 4 テストは保管し、間違えた問題はやり直しておこう。	
学習上の注意	・授業中は集中し、関心を持って意欲的に問題に取り組もう。 ・授業のノートは、途中の計算や考え方を書いたり、大事だと思ったことを自分の言葉でまとめたり、線を引いて見やすくするなど工夫をしよう。 ・答えより解法の途中経過を大切にしよう。 ・自分の考えはどんどん発表しよう。 ・わからないところは、早いうちに先生に質問しよう。 ・「わかる」→「できる」を目指して、たくさんの演習問題を解いてみよう。 ・グループ活動で課題解決を進めていこう。 ・提出物はすべて期日を守って提出しよう。		

数学科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
1章 式の計算	1節 式の計算	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な事柄や公式を理解している。</li> <li>・解き方を理解し、数学的に計算や作図の処理ができる。</li> <li>・事象を数学的にとらえ、式や表、グラフ、図形などで表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取り組み</li> <li>・定期テスト</li> <li>・レポート、ふりかえり</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	2節 文字式の利用 章末問題	5			
2章 連立方程式 連立方程式	1節 連立方程式	6			
	2節 連立方程式の利用 章末問題				
3章 一次関数	1節 一次関数とグラフ	7			
	2節 一次関数と方程式	9			
	3節 一次関数の利用 章末問題				
	4章 図形の調べ方	1節 平行と合同	10		
2節 図形の性質の利用					
3節 証明 章末問題		11			
5章 図形の性質と証明	1節 三角形	12	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。</li> <li>・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。</li> <li>・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取り組み</li> <li>・定期テスト</li> <li>・レポート、ふりかえり</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>
	2節 四角形				
	3節 図形の性質と証明の利用 章末問題				
6章 場合の数と確率	1節 場合の数と確率	1			
	2節 確率の利用 章末問題	2			
7章 箱ひげ図とデータの活用	1節 箱ひげ図 章末問題	3			

教科名	理科	週時数	4 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書「未来へひろがるサイエンス」2年生 啓林館 理科の完全学習（正進社） 観点別評価Wプリント（確認プリント付き）（新学社）				

理科で大切な見方・考え方	<見方> ・自然の事物・現象を主として量的・関係的な視点で捉えること（エネルギー領域・物理） ・自然の事物・現象を主として質的・実体的な視点で捉えること（粒子領域・化学） ・生命に関する自然の事物・現象を主として共通性・多様性の視点で捉えること（生命領域・生物） ・地球や宇宙に関する自然の事物・現象を主として時間的・空間的な視点で捉えること（地球領域・地学）		
	<考え方> ・身につけた「比較」「関連付け」「条件制御」「多面的に考える」をいかして、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、考えを表現する。		
理科の学習で目指すこと	知識・技能	・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。 ・授業で学習したことを基に、実験・観察においては、正確にそして安全に充分注意し、他者と協力しながら準備や片づけを協力してすることができる。	
	思考力 判断力 表現力	・自然に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的を持って実験・観察を行い、その結果について自分で科学的に考え、実験レポートに書き、発表することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	・身近な自然の事物や身の回りの現象について、興味や関心をもち、進んで授業に参加することができる。 ・理科に対して意欲をもって、積極的に実験・観察を行ったり、発表したり、先生の話や人の発表を聞いたり、ノートを書いたり、提出物の提出ができる。	
学習の進め方	授業について	授業	・考え・話し合うとき、聞くとき、書くときのけじめをつけよう。 ・プリントに書くときは、後で見直しができるように、見出しをつけたり、色を変えたり、下線を引くなど工夫して書こう。 ・話し合いなどには、積極的に挙手をして発表しよう。・授業では主体的に考え、また仲間と対話をし多角的な考えを知り、さらに自分の考えを深めていこう。
		実験	・実験においては、常に危険が伴うことを理解し、安全面を考え、集中して取り組もう。 ・実験には必ず目的があるので、目的や手順などの意味をしっかりと確認しよう。 ・班のメンバーと協力し、実験を行うだけでなく、準備や片付けも素早く行おう。 ・実験を行う際には、結果をよく見て、自分なりの言葉でその結果からわかることを表現できるように心がけよう。
	家庭学習	・宿題はテスト前にまとめてするのではなく、その日学習した内容については、その日のうちに家で復習に取り組もう。また、間違えたところは解説をしっかりと読み、教科書、ノートやプリントなどもきちんと確認しよう。 ・小テストの予告があったときは、必ず事前に復習を行い、小テストに臨もう。	
	定期テスト	・ワークは1度だけでなく、何度も繰り返し取り組み、苦手なところを無くせるようにしよう。 ・間違えた問題は答えを写して終わりではなく、解説もしっかりと確認し、どうしてその答えになるのかを理解しておこう。 ・疑問に思うところは、そのままにせずに質問して解決しよう。 ・終わったテストの問題や解答も保管し、次は間違えないように見直しをしておこう。	
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業を大切に、集中して取り組む。また、積極的に参加する。</li> <li>・実験の結果や考察は自分の言葉で表現できるように心がける。</li> <li>・身の回りの自然や事物・現象を不思議だという目で見て、学習した内容と、身の回りの自然や事物・現象との関連を考えてみる。</li> <li>・実験は常に目的意識を持って取り組む。</li> </ul>		

理科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について					
			評価の観点	評価の場面・方法				
生物の体のつくりとはたらき	生物の体をつくるもの	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念・原理・法則を理解している。</li> <li>・基礎知識が定着している。</li> <li>・実験・観察の操作や目的を理解している。</li> <li>・基本操作を習得している。</li> <li>・目的を把握し、実験結果をまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・ノート・ワークシート</li> <li>・実験中の様子（技能）</li> <li>・パフォーマンステスト（技能）</li> </ul>			
	植物の体のつくりとはたらき	5						
	動物の体のつくりとはたらき							
	動物の行動のしくみ	6						
化学変化と原子・分子	物質の成り立ち	7				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見だし、解決することができる。</li> <li>・実験観察結果・グラフ・表などを分析し、考察することができる。</li> <li>・仕組み・法則・要因などを推理し、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・振り返り</li> <li>・ノート・ワークシート</li> <li>・話し合いの様子</li> <li>・発表</li> <li>・自由研究</li> </ul>
	物質の表し方	9						
	さまざまな化学変化	10						
	化学変化と物質の質量							
電流とその利用	電流の性質	11	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心を持ち、進んで学習に参加している。</li> <li>・学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。</li> <li>・まじめな態度で集中して取り組むことができる。</li> <li>・発表を進んですることができる。</li> <li>・忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・発表</li> <li>・授業中の様子</li> <li>・振り返り</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>			
	電流の正体	12						
	電流と磁界							
地球の大気と天気の変化	地球をとり巻く大気の様子	1				主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心を持ち、進んで学習に参加している。</li> <li>・学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。</li> <li>・まじめな態度で集中して取り組むことができる。</li> <li>・発表を進んですることができる。</li> <li>・忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・発表</li> <li>・授業中の様子</li> <li>・振り返り</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>
	大気中の水の変化	2						
	天気の変化と大気の動き	3						
	大気の動きと日本の四季							

教科名	音楽	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書 中学生の音楽 2・3上 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 MY SONG (教育芸術社)				

音楽で大切な見方・考え方	<見方> ・音楽に対する感性を働かせ、音や音楽に対して音楽を形づくっている要素と雰囲気の間連を見つかること	
	<考え方> ・自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと間連付けて考えること	
音楽の学習で目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などの間わり及び音楽の多様性について理解する。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる。</li> </ul>
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。</li> <li>・音楽を主体的に鑑賞し、評価しながらそのよさや美しさを味わうことができる。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験している。</li> <li>・音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養っている。</li> </ul>
学習の進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や話をしっかりと「聴く」ことを心がけましょう。</li> <li>・どの分野にも意欲的に取り組みましょう。</li> <li>・仲間の考えを尊重しあい、お互いの音楽性を高め、全員で協力して進めましょう。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、曲にあった表現を工夫しながら堂々と演奏しましょう。</li> <li>・鑑賞では、時代背景や音楽の仕組みを理解しながらよさや美しさを感じ取りましょう。</li> <li>・器楽では、音を読むことや楽器を演奏することに慣れ、積極的に演奏しましょう。</li> <li>・創作では、音符や休符の長さを理解し、様々なリズムに慣れましょう。</li> </ul>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシックの名曲を楽しむ。日本の伝統音楽に親しむ。</li> <li>・世界各地の歌に触れる。</li> <li>・時代とともに変化するポピュラー音楽を聞いて、その特徴を味わう。</li> </ul>
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配付されるテスト範囲表に書かれている教科書などのページやプリント類、授業中に学習したことをしっかりと復習する。</li> </ul>
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業準備物を忘れないようにしましょう。正しい服装で心を落ち着かせて参加しましょう。</li> <li>・毎時間、「めあて」に対してどれくらい達成できたかをふり返り、次の授業へ生かしていきましょう。</li> <li>・話をよく聴き、授業に集中して参加しましょう。</li> <li>・失敗や間違いを恐れず、素直な心で思い切り表現しましょう。</li> <li>・歌い合わせる楽しさ、ハーモニーの美しさ、みんなで音楽を創り上げる喜びを味わいましょう。</li> </ul>	

音楽科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
オリエンテーション 斉唱の楽しさ	授業の約束事を再確認 する 既習曲、校歌	4	知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・ふり返りシート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・鑑賞の記録</li> </ul>
斉唱の楽しさ 日本の歌に親しもう	「夏の思い出」	5			
旋律の重なりを感じよう	「フーガ ト短調」	6			
クラスの歌声をつくろう	パート分け パート練習のスタート	7			
合唱の喜び 振り返り	合唱コンクール 学年合唱曲 自由曲	9 10	思考力・ 判断力・ 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・ふり返りシート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・鑑賞の記録</li> </ul>
オーケストラの響きを 味わおう	「運命」	11			
リズム、メロディー創作に挑戦しよう	自作曲	12			
舞台芸術に親しもう	歌舞伎、歌劇	1			
心を込めて歌おう	卒業式歌	2 3	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に親しみ、音楽を進んで表現することができる。</li> <li>・音楽に親しみ、音楽を鑑賞することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加状況(活動の様子、提出物、忘れ物)</li> <li>・ふり返りシート</li> </ul>

教科名	美術	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書 「美術 2・3」 (光村図書) 副読本 「美術資料」 (秀学社) 「レタリング字典」 (秀学社)				

美術で大切な見方・考え方	<見方>	・形や色、明るさなどに注目して、作品や身のまわりのものをよく見る。違いや組み合わせに気づきながら主体的に表現する。
	<考え方>	・形やいろなどの関係に気づき、自分の感じたことや考えを言葉にし深める。より自分が表現したいことを工夫・探求する。
美術の学習で目指すこと	知識・技能	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解する。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。
	思考力 判断力 表現力	・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
	主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にしてひとつひとつの工程に理由と意味を持たせ、表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。
学習の進め方	授業について	・2年生を発展期として、1年生で学んだことを生かしながら作品の制作を中心に学習をすすめます。日本の文化に関わる内容を中心に取り組んでいきます。引き続き、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を図り、振り返りシートを使って授業への取り組みを振り返り次の制作に活かせるようにします。  ・鑑賞では、美術作品や文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べて文章で表現したりします。
	家庭学習	・制作に必要な準備物や道具を考えて用意し、宿題を忘れずにしましょう。  ・アイデアスケッチ等をためておき、作品で表現するときに使えるようにしておきましょう。  ・芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。
	定期テスト	・授業内容を中心にワークシートや資料集の知識技能など、基礎基本についての総合問題を出題します。  ・鑑賞の学習では授業内容や背景、歴史などを総合的に出題します。まとめや復習をしておきましょう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。</li> <li>・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。</li> <li>・根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。</li> </ul>	

美術科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点	評価の場面・方法				
オリエンテーション	授業の取り組み方	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。</li> <li>・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</li> <li>・造形的な視点から制作の工程に意図をもちなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題及び作品</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>			
世界の仮面を学ぶ	仮面に込めた意味を学びディスカッション							
自己表現の仮面	自己が表現したい内容に表現する模様を考える	5						
	粘土で形作る 形・色・バランスを意図持って制作	6						
鉛筆で描く	鉛筆でモチーフのデッサン	7				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像したことをもとに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し心豊かに表現する構想を練っている。</li> <li>・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能美と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・実習課題及び作品</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
日本の絵画を楽しむ	日本画の鑑賞	9						
	水墨画の制作 作品鑑賞	10						
鉛筆で描く	鉛筆でモチーフのデッサン	11						
扇子デザイン	アール・ヌーヴォーを学び、扇子に描く	12						
		1						
オリジナルはんこ	自分用の消しゴムはんこの制作	2	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での様子</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・提出物</li> </ul>			
		3						

教科名	保健体育	週時数	3 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書「中学保健体育」(学研) 副教材「中学体育実技」(学研) 「保体資料ノート」(正進社)				

保健体育で大切な見方・考え方	<p>&lt;見方&gt; 運動やスポーツは、ただ体を動かすだけのものではなく、スポーツそのものにある楽しさや喜びといった文化的な価値、および健康の保持増進や体力の向上に果たす役割があります。それらを踏まえて、生涯にわたって心と体を豊かにするエネルギーの源として色々な側面から捉えること。</p> <p>&lt;考え方&gt; 自分の得意なことや興味・関心、さらに周囲の環境や状況を考えながら、「する・見る・支える・知る」といったさまざまな関わり方を運動の特徴と関連づけて捉え、生涯にわたって充実したスポーツライフを続け、発展させるための最適な方法を論理的に考え出すこと。</p>	
	保健体育の学習で目指すこと	<p>知識・技能</p> <p>運動の基本技術・体力を身につける。 運動・体力の必要性を理解する。 運動の健康・安全の確保の仕方を考え、実行する。 健康・安全について、理解し、健康に生活する力と知識を身につける。</p> <p>思考力 判断力 表現力</p> <p>自分や仲間の課題を発見することができる。 課題解決の方法を具体的に考え、合理的に判断することができる。 課題や解決方法を「ことば」で伝えることができる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>運動を通して、公正・協力・責任・共生を積極的に身につけようとしている。 ※公正…正当なこと ※共生…体力や技能の違いを認め合い、そして、補い合うこと 健康・安全に留意して、運動に積極的に取り組んでいる。 自分や仲間の健康についての学習に積極的に取り組んでいる。</p>
学習の進め方	授業について	<p>体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の安全(用具や服装、身なり、ルールなど)に注意して、運動を行いましょう。</li> <li>・仲間と協力し、色々な運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わいましょう。</li> <li>・準備運動やトレーニングを毎時しっかり取り組みましょう。</li> <li>・自己の能力を向上することを目指しましょう。</li> </ul>
		<p>保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の健康・安全に興味を持ち、積極的に授業に参加しましょう。</li> <li>・健康の保持増進や回復についての知識を身につけていきましょう。</li> </ul>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送りましょう。</li> <li>・三度の食事を必ず取りましょう。特に朝食は1日のエネルギーです。</li> <li>・毎日、自ら決めた「運動」を継続していきましょう。</li> </ul>
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各運動のルールや基礎知識・用語を理解しましょう。</li> <li>・授業中に経験した運動を「ことば」で説明できるようにしましょう。</li> <li>・健康についての基礎知識・用語を理解しましょう。</li> <li>・自他の「健康」を維持することの大切さを理解し、保持増進させる方法、回復の方法を「ことば」で説明できるようにしましょう。</li> </ul>
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できる」「できない」で判断するのではなく、「やる」「やらない」の取り組みで、「やってみる」のチャレンジ精神を持とう。</li> <li>・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組もう。</li> <li>・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしないようにしましょう。</li> <li>・指示をよく聞いて仲間と協力して、安全に活動しよう。</li> <li>・効果的で安全な活動を行うために、基本的な事柄(服装や身なりを整えたり、運動種目の規則を守るなど)に注意し取り組もう。</li> </ul>	

保健体育科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について							
			評価の観点	評価の場面・方法						
ガイダンス	授業の受け方・評価	4 5	知識・技能	<p>【体育分野】</p> <p>○知識</p> <p>・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。</p> <p>○技能</p> <p>・運動の特性に応じた基本的な技術や応用した技能ができる。</p> <p>【保健分野】</p> <p>○知識</p> <p>・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・学習カード</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・記録</li> <li>・レポート</li> </ul>					
体づくり運動	平田野エクササイズ									
	ストレッチ体操									
	補強運動									
	柔軟体操・集団行動									
新体力テスト	50m・ハンドボール投げ									
	持久走									
	握力・反復横跳び									
	立ち幅跳び									
器械運動 (跳び箱)	開脚跳び・抱え飛び									
	台上前転・頭はね跳び									
水泳	水慣れ					6 7	思考力・判断力・表現力	<p>【体育分野】</p> <p>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。</p> <p>・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・学習カード</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・記録</li> <li>・レポート</li> </ul>	
	保健	健康な生活と病気の予防								
		健康な生活と病気の予防								
陸上競技	ルール・安全									
	走り幅跳び									
	走り高跳び									
体育理論	文化としてのスポーツの意義	9 10	主体的に学習に取り組む態度	<p>【体育分野】</p> <p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・学習カード</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・記録</li> <li>・レポート</li> </ul>					
球技 (バレーボール)	ルール・パス									
	サーブ・ラリー									
	ゲーム									
陸上競技	持久走	11 12				<p>【体育分野】</p> <p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・学習カード</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・記録</li> <li>・レポート</li> </ul>
	球技 (ソフトテニス)	基本の動き								
ラリー										
攻防・ゲーム										
球技 (バスケ)	基本技能の向上	1 2 3					<p>【体育分野】</p> <p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・学習カード</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・記録</li> <li>・レポート</li> </ul>		
	球技 (ソフトボール)	ゲーム								
		戦術・作戦計画								
球技 (ソフトボール)	ルール・キャッチボール									
	バッティング									
	ゲーム									

教科名	技術・家庭科（技術分野）	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	東京書籍 技術・家庭科技術分野				

技術で大切な見方・考え方	<見方> ・身の回りの製品や技術が、どのような課題を解決するために作られたものを見つけること		
	<考え方> ・身の回りの製品や技術は、社会からのどのような要求、安全性、環境負荷、経済性などを背景として工夫されてきたか考えること		
技術の学習で目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等や原理・原則を理解する</li> <li>・電気、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組みや保守点検の必要性について理解する。</li> <li>・工具の安全かつ適切な使用方法を知り、加工することができる</li> <li>・適切な製図方法を知り、設計図をかくことができる</li> <li>・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる</li> </ul>	
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題から課題を設定し、解決するための育成計画を立てることができる。</li> <li>・植物や動物の特徴を踏まえた上で育成環境の調整方法や育成過程を具体化することができる。</li> <li>・電気回路の構造を理解し、適切に具体化することができる。</li> <li>・育成の過程や結果について、評価し、改善方法を考えることができる。</li> <li>・製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える</li> </ul>	
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等を理解して振り返りつつ学習を進めようとしている。</li> <li>・育成過程を観察しながら自己評価し、育成方法を改善し、運用しようとしている。</li> <li>・課題を解決するための構想や育成計画、環境管理の方法について試行錯誤している。</li> <li>・課題を解決するための構想や設計図について試行錯誤している。</li> </ul>	
学習の進め方	授業について	一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習や技術に関する調査を行う際は、コンピュータを必ず使用します。タイピングの練習等を行い、検索することができるようにしておきましょう。</li> <li>・問題を解決するために、粘り強く考えるようにしましょう。よりよい技術を考えるためには、課題を設定し、試行錯誤することが必要です。</li> <li>・ワークシートをもとに授業を進めます。</li> </ul>
		製作学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決するための設計が具現化する製作学習となります。構想や設計と異なる部分が出ることもあります。改善点を考えながら製作をしましょう。</li> <li>・製作（育成、制作）したものについて、自己評価や他者評価を受け、よりよいものに改善できるようにしましょう。</li> <li>・問題を解決するための方法については、適切に公開するとともに、他者の解決方法を参考にすることは、適切に行いましょう。</li> <li>・製作（育成、制作）においては、工具や機器は安全に配慮して使用するようにしましょう。</li> </ul>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容について、身の回りの技術や植物の生育について観察し、どのような工夫・改善点があるかを考えてください。授業における問題を解決するための思考が向上します。</li> </ul>	
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。</li> <li>・問題を解決するために授業で考えたことを問う問題が出題されることもありますので、授業で学習した内容を振り返っておく必要があります。</li> </ul>	
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作学習においては、怪我防止のため安全指導・指示を行います。服装や髪型などの指示を守りましょう。</li> <li>・製作学習においては、作業工程や必要な工具等を考慮し、安全に行いましょう。</li> <li>・作業後の片付けや掃除については自主的に行いましょう。</li> <li>・コンピュータの利用については、情報モラルに配慮し、適切に活用しましょう。</li> </ul>		

技術・家庭科（技術分野） 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
B生物育成の技術	既存の技術の調査	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法を知る。</li> <li>・工具の安全かつ適切な使用方法を知る。</li> <li>・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について知る。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。</li> <li>・工具を安全かつ適切に使用し、正確に回路が製作できる。</li> <li>・回路図の記述方法を知り、適切な回路図をかくことができる。</li> <li>・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術の仕組みを理解する。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストや定期テスト</li> <li>・技能テスト</li> <li>・栽培日誌の内容</li> </ul>
	栽培計画と栽培実習	5			
	栽培計画と栽培実習	6			
	栽培結果の評価	7			
Cエネルギー変換の技術	既存の技術の調査	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題から課題を設定し、解決するための育成計画を立てることができる。例えば、収量や品質、環境に対する負荷を考慮した上で栽培計画を立てる。</li> <li>・電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化することができる。例えば、課題に応じて負荷を選択したり、必要な回路をかくことができる。</li> <li>・製作の過程や製作物について、評価し、改善方法を考えることができる。例えば、栽培計画やエネルギー製品の計画について環境面、経済面、安全面について振り返り、評価することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培に関するワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・栽培日誌の内容</li> </ul>
	発電・送電・配電に関する技術	10			
	電気回路に関する技術	11			
	評価	12			
Cエネルギー変換の技術	回路設計・実験・製作	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物育成やエネルギー変換に関する基礎的な技術を理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。</li> <li>・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術について、理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。</li> <li>・問題を解決するために、設計を何度も考え直しながら試行錯誤し、問題解決のための最適解を導き出そうとしている。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えて、技術の活かし方について提言することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> <li>・栽培日誌の内容</li> <li>・知識、技能に関する学習の様子（観察）</li> <li>・栽培や発電に関する思考錯誤の様子（観察、ワークシート）</li> <li>・技術の活かし方に関する考え方のワークシート</li> <li>・レポート</li> </ul>
		2			
	評価	3			

教科名	技術・家庭科（家庭分野）	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書  新しい 技術・家庭  家庭分野  東京書籍				

家庭で大切な見方・考え方	<見方> 生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること。		
	<考え方> ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、課題を解決できるように考えること。		
家庭の学習で目指すこと	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深めている。 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食などについて理解しているとともに、技能を身に付けている。	
	思考力 判断力 表現力	安心・安全な生活を送るために課題を発見し、その課題を解決する力を身に付けている。 食品や衣服などの選択について考え工夫している。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習を進め、習得したことを生活に活かすことができる。 よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
学習の進め方	授業について	一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の持ち物を忘れないようにしましょう。</li> <li>・発問に対して、自分の生活の中から知っていることを考えましょう。</li> <li>・実生活と結び付け、課題を見つけていきましょう。</li> </ul>
		制作学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に必要な準備物を忘れないようにしましょう。</li> <li>・実習内容を確認し、安全に作業しましょう。</li> <li>・難しい作業などは家で練習しましょう。</li> <li>・実習の反省や振り返りは、課題を見つけ、課題を解決するための方法などをたくさん書きましょう。</li> </ul>
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習したことを家庭で練習したり、手伝いとして実践したりしましょう。</li> </ul>	
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。</li> <li>・授業で学習した内容を振り返っておいてください。</li> </ul>	
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。</li> <li>・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。</li> <li>・プリント類は順番通りに綴じましょう。</li> <li>・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。</li> </ul>		

技術・家庭科（家庭分野） 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
家族・家庭生活での自立	家庭生活の協力・協働 幼い頃の振り返り 幼児の1日の生活 幼児の生活と遊びなど	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の生活や発達が分かり、家族の役割について理解している。</li> <li>・幼児にとっての遊びの意義が分かり、幼児との関わり方を理解している。</li> <li>・用途に応じた食品の選択について理解し、適切に選ぶことができる。</li> <li>・安全と衛生を考え、基礎的な日常食の調理ができる。</li> <li>・地域の食文化について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・振り返り</li> <li>・実習観察</li> <li>・制作物</li> </ul>
幼児の生活と家族	幼児の体の発達	5			
	幼児の心の発達				
	支えられて身につける生活習慣	6			
幼児との関わり方の工夫					
持続可能な家庭・地域生活	子どもに取っての家族 家族との関わり 家族や地域の高齢者との 地域での協働を目指して	7			
日常食の調理と地域の食文化	食品の選択と購入	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児とのより良い関わり方について考え、工夫して触れ合うことができる。</li> <li>・状況を考えより良い食品の選択ができる。</li> <li>・調理計画を考え実践し、評価・改善することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・振り返り</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	生鮮食品の特徴	10			
	加工食品の特徴				
肉の調理	11				
生活を豊かにするために	いつも確かめよう制作の基礎基本	12	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に実習に参加しようとしている。</li> <li>・製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができる。</li> <li>・生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立てることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言</li> <li>・振り返り</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	作って楽しい布作品	1			
		2			
	3				

教科名	英語	週時数	4 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	「NEW HORIZON English Course 2」(東京書籍), Together! English②(学宝社), Wプリント(新学社), 英語ワークノート2(新学社)				

英語で大切な見方・考え方	<見方> ・コミュニケーションを行う際に、言葉だけでなく相手の持つ文化や背景を意識しながら対話をおこなうこと	
	<考え方> ・目的・場面・状況に応じて情報を整理し言い換え、相手を尊重したコミュニケーションをおこなうこと	
英語の学習で目指すこと	知識・技能	1. 日常的话题について知るために、短い会話やスピーチを聞き、話の概要を聞き取ることができる。(聞くこと) 2. 日常的话题について知るために、まとまりのある文章を読み話の概要をとらえることができる。(読むこと) 3. 興味がある話題について、適切な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。(やり取り)
	思考力 判断力 表現力	4. 興味がある話題について、情報や気持ちなどを整理して話すことができる。(発表) 5. 関心のある事柄や体験したことなどについて整理し、まとまりのある文章を書くことができる。(書くこと)
	主体的に学習に取り組む態度	1. 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 2. 相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 3. 日常的话题を、さまざまな工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。
学習の進め方	授業について	・グループワーク、ペアワーク、ALTの先生との会話、発表などに積極的に取り組み、英語をたくさん話すことに挑戦しましょう。 ・先生や友達の話す英語、CDの音声など、聞くべきところはしっかり聞いて、内容を理解する努力をしましょう。 ・教科書や単語、重要表現の音読には大きな声で取り組み、英語のリズムやイントネーションに慣れましょう。 ・単語や英文は根気強く音読しながら書く練習をしましょう。 ・ノートやプリントに、黒板を丁寧に書き写しましょう。 ・メモディーで着席し、授業の準備をきちんとしましょう。 ・友達や先生の話聞く姿勢にも気をつけましょう。
		家庭学習
	定期テスト	・授業で扱った基本文や重要表現を英語で書けるようにしましょう。 ・授業中にチェックした本文は書けるようにしておきましょう。 ・ワークやプリント、授業で取り組んだ問題は何回もやり直しましょう。 ・ALTの先生と一緒に勉強した内容を聞いたり書いたりできるようにしておきましょう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からないことがあれば先生や友達に聞いて、疑問点を解決していきましょう。</li> <li>・提出物は提出期限までにしっかりと取り組み、忘れず提出しましょう。もし忘れたときは申し出てください。</li> <li>・英語を使える場面では間違いを恐れず英語を使いましょう。「伝えたい」という気持ちを大切にしましょう。</li> </ul>	

英語科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
Unit 0	My Spring Vacation	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春休みにしたことをクラスメートと伝え合うことができる。</li> <li>・留学生に休日のプランを提案することができる。</li> <li>・イチオシのご当地グルメを紹介することができる。</li> <li>・「10年後の自分へのメッセージ」を書くことができる。</li> <li>・自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。</li> <li>・日本の習慣やマナーを伝えることができる。</li> </ul>
Unit 1	What can we experience on a trip ?	5		
Unit 2	What is local food ?	6		
Unit 3	What kind of job are you interested in ?	7	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り入れたいユニバーサルデザインを伝え合うことができる。</li> <li>・アンケート調査の結果を発表することができる。</li> <li>・自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。</li> <li>・日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介することができる。</li> <li>・自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。</li> </ul>
Stage Activity 1	My Favorite Japanese Food			
Unit 4	What is important in a homestay ?	9		
Unit 5	What design is good for everyone ?	10		
Unit 6	How can we make a good presentation ?	11	主体的に学習に取り組む態度	<p>【聞くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p> <p>【読むこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p>【話すこと[やり取り]】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>【話すこと[発表]】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>【書くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
Stage Activity 2	My School and School Life	12		
Unit 7	What are World Heritage sites and their problems ?	1		
Stage Activity 3	Let's Have a Discussion	2		
Let's read	Pictures and our beautiful planet	3		

## 特別の教科 道徳 年間学習計画

単元	主題名	月	道徳の学習について			
<b>1 学 期</b>			週時数	1	使用教科書	あすを生きる 2
1	おじさん役と私	個性を生かす	4	道徳の学習でめざすこと	①お互いを認め合い、大切にし、高め合おうとする態度を育てる。 ②人の思いや生き方に共感し、差別の問題をなくそうとする態度を育てる。 ③自分の言動に責任を持てるようにする。	
2	おばちゃんのくれたおまじない	なんのために働くのか				
3	挨拶は言葉のスキンシップ	挨拶の意味				
4	初心	目標に向かって				
5	五月の風—カナ—	自分の意志で	5	道徳の学習の進め方	・主に教科書、道徳ノートを使いながら授業を行います。 ・補助教材として、映像や資料を提示することもあります。 ・授業の終わりには、その1時間の「振り返り」を行います。	
6	五月の風—ミカ—	信頼される友達				
7	リスペクト アザース	人権を考える				
8	名乗り出なかった友	思いやりのある行動				
9	戦争取材する	真実を追い求める	6	道徳の学習の進め方	・特別の教科「道徳」では、定期テストは実施しません。 ・学期末の通知表には、数値による評価ではなく、記述式の評価を行います。	
10	時を越えて—檜野で生まれたきずな—	国と国のきずな				
11	父の決意	生き抜くこと				
12	和樹の夏祭り	地域の活動のよさ				
<b>2 学 期</b>			評価について	<b>目指す学校像</b>  みんなが安心して過ごせる居心地の良い学校  <b>道徳目標</b>  自他を思いやり、仲間とのつながりを大切にできる生徒の育成  <b>道徳教育の指導方針</b>  生徒の実態に合った課題を示し、多面的・多角的に考え、議論させる。  考え、話し合ったことをもとに、自己の生き方を見つめ直す機会をつくる。		
13	他人の靴を履いてみる	ほかの人の立場	9			
14	ヨシト	公正な態度				
15	ネット将棋	責任ある言動				
16	樹齢七千年の杉	自然の偉大さ				
17	自分の弱さと戦え	弱さの克服	10			
18	小さな工場の大きな仕事	社会に貢献する				
19	上勝から世界を変える	自然を守る取り組み				
20	美しい鳥取砂丘	規則の役割				
21	行動する建築家 坂 茂	社会のためにできること	11			
22	夜のくだもの屋	思いやりと感謝				
23	アフガニスタンの人々と共に	国際貢献とは				
24	制服は誰のもの	よりよい学校生活				
25	命を見つめて—猿渡瞳さんの六百四十六日—	生きていることの意味	12			
26	行く年、来る年	身近な伝統と文化				
			生徒指導	学級・学校環境	家庭との連携	地域社会との連携
<b>3 学 期</b>			1	道徳の学習の進め方	・基本的な生活習慣を確立させる。(あいさつ、時間のけじめ、身だしなみ等) ・交通指導など安全指導を重視する。 ・毅然とした態度と生徒の心情を引き出す指導を行う。	
27	コトコの涙	人から学ぶこと				
28	マークはなんのために？	誰もが生活しやすい社会				
29	最後のパートナー	生命との関わり				
30	避難所にて	調和のある生活				
31	よみがえれ、えりもの森	人と自然の関係				
32	足袋の季節	人間の弱さと強さ				
33	恋する涙	友達との関係				
34	包む	伝統と文化への向き合い方	2	道徳の学習の進め方	・生徒間、生徒と教師間、教師間のよりよい人間関係、信頼関係の構築に努める。 ・清掃活動等を通じて、落ち着いた学校生活を送れる環境づくりを目指す。	
35	きいちゃん	自分と家族				
			3	道徳の学習の進め方	・学校通信、学年通信、学校ホームページ、PTA広報を通して、教育内容を発信し啓発する。 ・家庭訪問を適宜行い、保護者との連携をとる。	
36	命を懸けて—	命を懸けて				
37	命を懸けて—	命を懸けて				
38	命を懸けて—	命を懸けて				